

ヤマザキ動物看護大学の学生支援に関する方針

ヤマザキ動物看護大学の学生支援は、建学の精神である「生命への畏敬」「職業人としての自立」に則り、地球上に存在する多種多様な生命に対し尊敬の念を持ち、限りない愛を注ぎ、人と動物の共生する平和な社会の構築に寄与するために、職業人としての豊かな人間性と幅広い視野を身につけることを目指して行うものである。

具体的には、修学支援・学生生活支援・キャリア支援・障がい学生支援の4つの方針をもとに、教職員が一体となって実施する。

I 修学支援

- ① クラスアドバイザー制度を設け、学生が学修を円滑に進めていくことができるよう、教員・職員が連携し、きめ細やかな相談、指導・助言を行う
- ② 学生が自ら意欲的に修学を進めることができるよう、設備環境の整備に努める
- ③ 学生の国際的な学びの支援として、正課における留学や海外研修などを行う

II 学生生活支援

- ① 学生が安心して大学生活を送ることができる学内環境を整える
- ② 学生が心身の健康を保つために必要となる情報を広く提供するとともに、学生相談室・医務室を設け、個別の相談体制、関連部署との協働による支援体制を整える
- ③ 各種ハラスメントへの相談窓口を設け、学生の人権を保障するとともに、問題解決に必要な措置を迅速かつ適正に行う

III キャリア支援

- ① 卒業後に自立した人間として社会に貢献するために、教員・職員が連携し、入学から卒業まで体系的に進路支援を行う
- ② 学生の多様な進路に対応し、学生一人ひとりに寄り添って、卒業後までを見通した柔軟で的確な進路支援を行う

IV 障がい学生支援

- ① 「ヤマザキ動物看護大学及びヤマザキ動物看護大学大学院における障害学生支援に関する指針」に基づき、障害の有無によって分け隔てることなく修学することができる環境を提供し、個性を生かして主体的に学ぶことができるように、必要かつ適切な支援を行う

以上

令和7年9月策定